

増穂だより



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地
TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741
URL <http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集 / 芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部
■発行日 / 平成30年12月22日 発行
■印刷 / 株式会社横浜総合写真



Contents

■各部情報（総務部/進路部/生徒部/研究部）	2P	■思い出（中学運動会）	7P
■各部情報（入試広報部/厚生部/クオレ /事務室/保健室/図書室）	3P	■増穂祭/中学運動会/芸術鑑賞会	8P
■グローバル委員会 （夏季ホームステイ/海外大学説明会）	4P	■生徒会情報（中学/高校）/教科情報（数学科/音楽科） /委員会情報/文化講演会	9P
■学年情報（中学/高校）	5P	■PTA情報/後援部情報	10P
■思い出（増穂祭）	6P	■トピックス	11P
		■トピックス/あとがき	12P

各部情報

総務部 総務部情報

後期の総務部の活動としては、9月22日23日に文化祭が行われPTAの方々のサポートをして、例年通り無事終了しました。次に、10月9日(火)に抜き打ちの避難訓練を行い生徒、教員の防災に対する意識を深めました。反省としては、正しい避難経路が分からず、中学棟と図書室横を通る生徒が多く、日ごろの避難経路の周知徹底が出来ていなかったのが気になります。正しい避難経路が各教室に掲示してあるので、確認しておいてください。また、終業集会では、防災備蓄食料の賞味期限が迫っているもの(中学生はビスコ、高校生はアルファ米)を配ります。本校では、備蓄食料として1600人が1日3食を2日分食べられるように防災倉庫に準備しています。非常事態のときの一食分がビスコやアルファ米になることを覚えておいてください。

11月16日は芸術鑑賞会があり、ミュージカルを見に大井町にある劇団四季の劇場に行き。高校生は「キャッツ」、中学生は「ライオンキング」を鑑賞しました。一般のお客さんが居る中で、マナー良く鑑賞できたと思います。

生徒部 冬休みに向けて

いよいよ冬休みを迎えます。冬休み後は本校の入試もあり、学校は休みが続く時期となります。この時期をただらと過ごさないように、しっかりと日常生活を送って欲しいと思います。

冬休みには、今までの生活の様子をぜひご家族で話し合ってみてください。とくに、スマホやゲームの使い方は大丈夫でしょうか。はじめをつけて使用しているでしょうか。公共の場で迷惑になっていないでしょうか。

それから、最近社会一般で問題になっているのは、自転車の乗り方です。スマホを見ながら、イヤホンで音楽を聞きながら、数人で並走したりと、危険な運転が多く見受けられます。冬休みは自転車に乗る機会も多いと思います。友人達と一緒に自転車に乗る機会もあるでしょう。ぜひ注意して自転車に乗るようにしてください。

冬休み明けの新年に、また生徒の皆さんと元気に会いたいと思っています。

進路部 進路部各種行事について

生徒向け行事としては、今秋も恒例となりました大学教授による模擬講義を実施しました。10月12日、筑波大学社会科学系法律学専攻の辻雄一郎准教授に、「生徒の身近にある法律」について講義して頂きました。参加は中3から高2まで合わせて50名ほどでしたが、講義終了後も活発な質疑が行われ、先生からも高評価を頂きました。続く11月6日には、早稲田大学基幹理工学部情報通信学科の嶋本薫教授に「未来を変える無線通信技術」について講義して頂きました。こちらの参加は中3から高3まで合わせて80名ほどでグリーンホールを会場に行いました。かなり高度な知識を求められる講義でしたが、生徒達はしっかり受講し、こちらも終了後の質疑は中身の濃いものとなりました。

保護者向けの講演として、今年度から新たに12月1日に進路講演会を設けました。芝浦工業大学の就職・キャリア支援部石井達也

研究部 【SSH探究授業】後期の活動報告

秋にGSⅡ・SSⅡで探究に取り組む高校2年生による、課題研究の中間発表会が開催されました。理数系のみならず人文社会系のテーマも含めて79名32件の発表がポスターセッション形式で行われました。SSH運営指導委員の大学の先生方、聞きに来た中高生を前に、研究の動機、進め方、考察等を堂々と発表していました。まだ研究を始めたばかりのGSⅠ・SSⅠ在籍の高校1年生は、今回は先輩の研究を聞き、「質問力」を鍛え、年度末の関東SSH生徒発表会、千葉大学国際研究発表会での発表を目指しています。

また、後期にはいつも行っている千葉大学留学生を招いてのポスターセッションや茶道部による交流も行われました。現在はSSH特別講座、JFEスチールとの連携・見学会、ベトナムサイエンス研修に向けての探究活動が進行中です。ぜひ様々な取り組みに参加して、主体的、対話的な深い学びを身につけて貰いたいと思います。2月の探究発表会には、多くの保護者の方、生徒の来場をお待ちしています。



部長・加藤美南さんを講師に迎え、学生への就職支援活動や就職状況、社会人基礎力などが話され、就職で求められる人材育成には、中学・高校時代の過ごし方も重要であることが確認できました。参加された保護者は約200名ということで、非常に関心も高かったようです。

新年を迎えると、現高校3年のセンター試験、そして一般入試も始まります。進路部行事としては、高校3年卒業式後に高校1年、2年向けに卒業生講演会を予定しております。



外部発表会での活動報告

8月8日～9日に神戸国際展示場でのスーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会に高2の生徒2名が参加しました。また、9月29日に開かれた千葉大学主催の高校生理科研究発表会では24名の高2の生徒が参加しました。(発表数9件)その中で、鈴木律兵君(水酸化マグネシウムのリーゼガング形成について)、古澤生帆さん(PVAはなぜほう砂でゲル化するのか)、武藤美佑さん(ゲル法による大粒のアラゴナイト結晶の作成)の3名が優秀賞をいただきました。さらに、武藤さんは千葉県児童生徒・教職員科学作品展に出展し、千葉県教育研究会理科教育部会長賞を受賞したので、全国大会の日本学生科学賞に向けて研究を深めているところです。例年以上の質、量の皆さんの探究活動をうれしく思います。高1・2のGS・SSの全員が参加する2月の校内課題研究発表会を楽しみにしています。

各部情報

入試広報部 学校説明会を終えて

今年の学校説明会も12月16日の中学入試説明会を持ちましてすべて終了しました。

今年の説明会では、中学高校ともに生徒会役員や補助の生徒達に受付を手伝っていただきました。説明会に参加した小学生からは「中学生に笑顔で挨拶してもらってうれしかった」また、保護者からは「芝柏入学後の(自分の子供の)イメージがわいた」などの声も聞かれ、非常に好評でした。

説明会や相談会の中で「知り合いのお子さんが通っていて非常にいい学校だと聞いたので・・・」という声もよく耳にします。本校の広報活動は在校生や卒業生、また保護者の皆様に支えられていると実感しており、感謝の言葉もありません。

1月よりいよいよ本校の入学試験が始まります。入試準備日から試験当日、発表日まで、説明会に引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

事務室 事務室より「冬」の連絡

【年末年始の事務室窓口対応】

年末は12月25日(火)16:30で終了し、年始は1月7日(月)8:30から再開します。JR学割証が必要な人は早めに申し込みましょう。

【スクールバスの運行】

年末は12月27日(木)で終了し、年始は1月4日(金)から再開します。時刻表についてはウェブサイト等に掲出しますので、利用予定者は確認してください。

【落とし物・忘れ物】

落とし物や忘れ物を発見した人は、冬休み前に一度ぜひ事務室後ろ側廊下のショーケースを見に来てください。

【証明書類を申請する場合の約束事】

1. 申請書には消えないインクが出るペンを使って記入すること。
2. 生徒証を持参のうえ、求めに応じて提示すること。

厚生部 厚生部情報

中学福祉委員は夏休みに「いずみ園」でボランティア活動を行いました。夏祭りの準備を手伝ったり、日常作業の補助を行ったりしたレポートをまとめ、学年ごとにポスターを作成し、増徳祭にて紹介しました。

また、中学保健委員は、健康に関するアンケート結果をまとめて、掲示しています。食事や睡眠に関する大切な項目ですので、参考にしてください。

高校昇降口前に福祉に関するポスターを掲示しています。2020年のオリンピック・パラリンピックに向けたボランティアの募集要項や、「赤い羽根」募金のお知らせなど、ぜひご覧ください。



保健室 その不調、「冬バテ」かも？

寒さが厳しくなり、疲れやすかったり、イライラしたりといった症状は出ていませんか？もしかしたら、「冬バテ」のせいかもしれません。

主な症状は、前述したものに加え、寝つきが悪い、肩がこる、胃腸の調子が悪くなる、免疫力が低下して風邪などにかかりやすくなるといったものです。

忙しさとストレスが高まりいつも緊張状態であること、冷えて血行が悪くなることや日が短くなり太陽の光を浴びない事による不調などが原因といわれています。

「冬バテ」を予防・解消するには、①気分転換をする、②運動などで体を動かす、③お風呂につかって温まる、④体を温める食事をすることです。

自分の生活習慣を見直して、冬も元気に過ごせるようにしましょう。

クオレ 友だち幻想

冬休みを前に、今回は一冊の本を紹介したいと思います。タイトルは『友だち幻想-人と人の〈つながり〉を考える-』(ちくまプリマー新書)。著者は社会学を専門とする菅野仁氏です。本書の内容を一言で表せば、人と人とのつながりについて書かれている本、ということになると思います。

相談室には、友だち関係で悩み、傷つき、でも離れられない、という相談が寄せられます。話を聞いてみると、友だちとの「適度な距離」の取り方ができていない、と感じることがあります。どんなに親しくても他人は他人、自分とは違う・・・そんな現実気づき、適度な距離感を身につけられたい、きつともっと楽に接することができる、と思うことがあります。

メールやLINE等が普及し、ますます人との距離感の難しさを感じる時代です。生徒ばかりでなく、大人の方にもお勧めしたい一冊です。

図書室 世界で活躍する日本の建築家たち

今回の図書室企画展示はプリツカー賞を受賞し、世界で活躍している日本人建築家たちの特集です。

建築界のノーベル賞といわれるプリツカー賞を受賞した日本人は7人。1964年東京オリンピック国立代々木競技場をデザインした丹下健三から2020年東京オリンピック新国立競技場デザインの隈研吾まで、誰もが知っている有名建築家の作品集をご覧ください。



◆冬休み特別貸出し: 12/17(月)~22(土)

◆一人5冊まで

◆返却日: 1月7日(月)

◆閉室日: 12/23(日)~1/6(日)

※高3生最終貸出日: 1月24日(木)

高3生最終返却日: 1月31日(木)

夏季ホームステイ

英国（ロンドン・ボーンマス）留学報告

7/19（木）から19日間、中3～高2対象に短期留学ホームステイプログラムを実施しました。

到着後のロンドン市内観光では、大英博物館見学やミュージカル、ハリーポッターのスタジオツアーなど、本場のエンターテインメントに触れることができました。

留学先の大学や語学学校では、世界各国の留学生とともに英語の授業を受けたり、オックスフォード大学見学やパース、ストーンヘンジなどの世界遺産にも訪れました。

ホストファミリーに家族の一員として迎え入れられ、世界各国の友人を作ったこの経験は、生徒達にとって忘れられない思い出となったはずです。英語に対する学習意欲がさらに湧いた様子でした。



豪州ホームステイ報告

7月19日（木）～8月9日（木）の3週間にわたり、豪州の文化や生活習慣、Redeemer Lutheran Collegeでの授業を体験し、英語を用いて交流を深めてきました。特にRedeemer校で行動を共にする現地生徒（Buddy）やホストファミリーとは当初会話もぎこちなく、必要最小限の会話だけのような状況でした。しかし日常生活や学校生活を通じて行動を共にすることで、徐々に打ち解けていく様子が伺えました。「英語はツール」このことを豪州で実践してきた参加者はちょっとびり成長したのではないかと思います。



SSCⅢカナダ・バンクーバー語学研修

2018年8月12日（日）～2018年8月26日（金）の15日間、カナダのバンクーバーにあるILSC-VANCOUVER Language Schoolsでホームステイ・語学研修を行いました。

高校3年生SSCⅢから奨学生2名が参加しました。最初は緊張していた2人でしたが、現地に到着すると、多様性を受け入れてくれる土地柄もあり、積極的に地元の人と交流を持ち、思ったことを伝えようと、自ら英語で話すことを楽しんでいました。授業後のアクティビティも自分に合ったものを選択し、空き時間を利用してながら、バンクーバーを満喫していました。帰国後も2人それぞれが、「自分は成長したと思う」と笑顔で短期留学の感想を述べていました。今後も2人の活躍に期待します。



海外大学説明会

オーストラリア大学説明会

オーストラリアのブリスベンにあるクイーンズランド大学付属の語学学校のIESの担当者が来校し、留学先としてのオーストラリアの魅力を語ってもらいました。オーストラリアは留学生の受け入れも積極的であり、手厚いサポートがある様子が伺えました。質疑応答の場面では生徒が英語で質問する場も見られ、説明会に参加する生徒の意欲も感じられました。

近年は留学に行く世代の若年化が進み、年々高まる保護者や生徒の要望から、中学生・高校生に向けた短期間のプログラムを提供する大学付属の語学学校も増えてきているので、様々なプログラムと比較し、自分に合ったプログラムで海外を味わってもらいたいです。



イギリス留学及び進学説明会

10月18日（木）本校交流館講義室にて「イギリス留学及び進学説明会」が行われました。ロンドン大学（UCL）から入試課担当者を直接お招きし、イギリス留学と大学への正規入学の方法やロンドン大学サマースクールについての説明をしていただきました。

今年の夏にロンドン大学主催のサマースクールに応募し、世界中から選ばれて参加した生徒（高校2年生）からの体験談もあり、重質した内容の説明会になりました。

日本の大学だけでなく、海外の大学進学も視野に入れた100名を超える生徒・保護者の方々が熱心に話を聞いていました。



アメリカ・カナダ大学説明会

参加者が100名を大幅に超える大盛況であった。特に目立ったのは、イギリス・オーストラリアの説明会から連続してご出席いただいている保護者の数が多いことである。昨今の国際化ブームを受け、次第に留学への関心が高まっていることの表れである。

今の生徒たちにとって、これから先ますます強まるであろう国際化の波に乗り遅れないようにするためには、少しでも若いうちに世界を見ておく必要があると思う。また見ることによって視野が開ける可能性は大きく、今後の人生に少なからぬ影響を与えるだろう。

いきなり海外の大学に留学するにはかなりの勇気がいるので、中学・高校生のうちに短期のホームステイをして免疫をつけてからでもよいだろう。また、多額の費用が心配になるが、探せば様々な奨学金が用意されていて、意欲と能力のある人にはチャンスが待っている。



学年情報

中学1年
ともに探究し、思いやりのある仲間

増穂祭、運動会、合唱祭が無事終了しました。初めてながらも生徒たちが創意工夫し、自分たちで話し合って修正し、協力し合うことを1つずつ経験し、行事ごとに集団としての成長を感じ取れたことは大きな喜びです。また、先輩たちから学ぶことも多く、運動会は上級生のリーダーシップに支えられて1年生も奮闘し、合唱練習では上級生からの確かなアドバイスをいただき、クラスの練習が一段と密度の濃いものとなりました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、数々の学校行事に足を運んでいただき、ありがとうございました。

三大学行事が終了し、この冬休みからじっくりと学習に取り組める時期に入り、部活動では1年生大会の時期になります。日々のやるべき事に集中するとともに、同学年でのチームワークも大切に、教室でも仲間を尊重し、自分とは違う個性を認められる集団になってほしいと切に願います。

高校1年
高1学年情報

日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

文化祭では、自分たちで自由に発案、計画、運営、管理することに取り組み、心理的な自立を促しました。秋に入ると文理選択の時期となりました。自身の夢や興味関心を軸に、これまでの大学見学や模擬講義、文理適性検査などの結果を踏まえて、担任との面談を繰り返しながら、じっくり考える機会をつくりました。不安定な社会情勢に影響されてか、「資格」や「手に職を」といった言葉がよく聞かれました。文理決定後も、職業や大学での学びについてはあまり局所的に捉えず、広くアンテナを張り、仕事塾や自分史、Webコンなどの活動も活用しながら考え続けてほしいと思います。また、2年生になると自分で選んだ科目を中心に学習していくこととなりますが、できる限り幅広く学び続ける姿勢を忘れずに、更に知性を磨いてほしいと思います。

中学2年
合唱祭を終えて

師走を迎え、今年の中学合唱祭が終わりました。毎年、合唱練習が始まる約1ヶ月前から本番当日にかけて、ついつい口ずさんでしまうほど色々な歌が私の頭の中を駆け巡ります。今年の2年生の課題曲をはじめ、1年次の課題曲や聞き覚えのある自由曲、以前、自分が担任をしたクラスの数々の歌も、当時の生徒たちの顔や出来事と併せて鮮明に脳裏に浮かんできます。現在は特定のクラスに肩入れせず、全クラスを遠くから応援する立場であるのが少し寂しいですが、今年の合唱祭も生徒たち一人ひとりの普段の出来事、そして惨敗という苦い結果とともに、しっかりと私の中に刻まれることでしょう。

クラス作りの集大成とも言えるこの行事は、生徒たちに色々な難題を与え、成長する機会を与えてくれます。3年生の力を体感したいま、来年こそはどのクラスも圧倒的な力をつけてあの舞台上に上がってほしいと強く願っています。

高校2年
0学期に向けて

学問のみならず、学校行事や部活動にも励んできましたが、いよいよ1月には高校3年生0学期が始まります。もうすぐ3年生という自覚は出てきたでしょうか。もう一度学習習慣を確認しましょう。今は受験生として毎日最低2時間の学習を確保します。4月からは3時間以上になっていくと思います。次に学習の中身です。毎日を漠然と過ごすのではなく、どの問題集を何日までに仕上げるといった計画が必要です。また、年間計画をたて、今から3月までは2年間の総復習と基礎固め、4月からは授業を大切にしながら、記述式問題を併用し2次私大対策を進め、夏休みにはほぼ受験科目の基礎を完成し、9月からは本格的に過去問を解き始め、1月にはセンター試験で満点を取りに行く、といったように合格への道をイメージしましょう。



中学3年
はじめをつける

夏休みが明けて、文化祭・運動会・定期試験・WEBコン・芸術鑑賞会・合唱祭等たくさんことができました。生徒達はそれぞれの事に全力投球で頑張り、すべてにおいて素晴らしいものを魅せてくれました。こんなにも生徒が頑張れたのは、保護者の方のおかげです。家という安心して帰る事のできる場所があってこそ子供は頑張る事ができます。いつもご協力本当にありがとうございます。さて現在、卒業アルバム・連絡進学出願等「高校生になる準備」が始まっています。外からの準備とともに、心の中の準備もしたいものです。皆さんは3月に義務教育期間を終えます。本来高校は行っても行かなくてもどちらでもよいものです。「勉強をしない」という選択肢もあるのに、あえて「勉強する」という選択肢を取る意味を考えましょう。この時期にしっかりと自分の将来を考え、はじめをつけて高校に進学してほしいと思います。

高校3年
学年情報

例年受験勉強一色に染まる高校3年生ですが、今年は短期間での準備という前提で数多くの3年生が増穂祭に参加しました。増穂大賞を受賞した演劇「グッド・バイ」をはじめ、アトラクションの「Archaeological Survey」やアイス販売、「芝柏クイズ王」獲得など、随所で最高学年らしい「思い」のこもった姿を見ることが出来ました。増穂祭期間中も含めて、しっかり学習にも取り組み、模擬試験でも順調な結果が出ています。「センターまであと〇〇日」のカウントダウンもいよいよ現実味を帯びてきて、本格的な受験に向けて学年全体が引き締まった顔つきになってきました。とはいえやはり受験勉強です。不安な気持ちと闘うことは容易ではありません。面談が始まると次々に弱音が口をついてきます。自分だけが遅れていると考えがちになり、一人で焦り、志望校を安易に下げる選択をしてしまうという悪循環に陥るのがこの時期です。自分の可能性を信じ、戦い、最後の1秒まで伸びるんだという強い意志を持って37期生全員で戦っていければと思います。



増穂祭
2018.9.22 ~ 23



中学運動会
2018.10.13



● 増穂祭 ●

増穂祭を終えて

2018年度の中学文化祭実行委員会委員長を務めさせていただきました。

中学一年生から高校三年生まで、たくさんの方が協力してとてもいい文化祭にできたと思います。

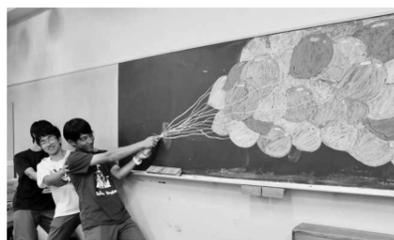
中学生では謎解きゲームや、写真スポット、演劇などたくさんのカテゴリーを楽しむことができました。どのクラスも来場者を楽しませる工夫がされていて、それぞれが自分の役割を果たせたと思います。

初めて文化祭実行委員に入って、緊張や責任感も感じていましたが、無事に皆さんのおかげで文化祭を終えることができ、嬉しく思います。来年の文化祭に向けて、今年の反省や良かったところを活かしていけるように、がんばっていきましょう！一年間ありがとうございました！お疲れ様でした！



第39回増穂祭を終えて

9月22日(土)と23日(日)に第39回増穂祭が開催され、熱気に満ちた中、無事に終わりを迎えました。また、天候が心配されましたが、昨年に続き今年も、4696人という過去最高の来場者数を記録することができました。今年の増穂祭テーマは、一人ひとりが自らの目標を決めて、それに取り組んでほしいと考え、「。」(No Title)にしました。芝柏生一人ひとりが目的を持って増穂祭に取り組んだから、このような結果を迎えられたのだと思います。最後に皆さん、準備や当日の活動等、お疲れ様でした。今回の増穂祭が、皆さんの青春の1ページになったことを文実一同、願っています。



● 中学運動会 ●

平成最後の運動会

運動会実行委員会の小野瀬です。

今年は平成最後の運動会でしたが私の組は残念ながら最下位だったため、悔いの残る結果となりました。

しかし、初の集団行動で得た一体感や完成した時の達成感は今でも忘れることができません。

また、私は放送の係も担当していたのですが、本部席で見た女子のダンスに圧倒されてしまいました。

しかし、委員会の段取りや役割分担の面においても、顧問の先生との意思疎通が不十分だったという課題が残りました。

ですが、実行委員会の仲間達のおかげでなんとか無事に運動会を終わらせることができました。

今後もこのリーダーとしての経験を忘れずに仲間と共に邁進して行きたいと思っています。

黄組、最高です

こんにちは黄組団長の新島です。みなさん、応援ありがとうございます。

今年の運動会で無事優勝することが出来ました。僕はこの運動会を通していくつかのことを学びました。まずリーダーシップをとるということの大変さ。次にどれだけチームの状態が悪くても諦めずに最後までやり遂げることの大切さです。応援団の中間発表では「一番ひどい」と言われてしまいましたが、そこからみんなで頑張り1番長く練習して応援合戦では2位を取ることができました。この結果を得られたのも支えてくれた先生方、応援団の仲間達のおかげだと思っています。ありがとうございました。運動会当日は各人が精一杯頑張り優勝することが出来ました。最後まで諦めずに戦い抜いたせいか半端ではない喜びが込み上げてきました。18期の頑張りや19、20期生の皆さんが受け継いでくれたら嬉しいです。

◇ 芸術鑑賞会 ◇

20年目の「ライオンキング」

中学生は四季劇場夏において、「ライオンキング」を鑑賞しました。

1998年に日本で初演されてから今年には20年目になりますが、これだけのロングランでも飽きることなく、ファンを魅了している作品は珍しく、そこにはどんな秘密があるのかと思いつつ観ました。

動物たちのリアルな動き、時にユーモラスで純粋な表情、鮮やかな舞台やテンポよく進むストーリーなど、時代とともに少しずつ進化しながら、観客の心をつかんで離さない工夫がされています。更に苦しみながらも愛や勇気などの生きるための大切さを学んでいく主人公シンバの成長物語にその魅力があるとわかりました。



高校芸術鑑賞会

11月16日大井町にあるキャッツ・シアターでミュージカル『キャッツ』を鑑賞してきました。キャッツ・シアターは今年の夏にキャッツ専用劇場として新設され、今話題の劇場です。細部までこだわった劇場は、猫の視線に合わせて作られ、劇場に入るともうそこはキャッツの世界観に自然と入ってしまうようでした。そして、本物の猫のようにしなやかな動き、つい聞き入ってしまう歌、瞬きをするのを忘れてしまいそうになる演出、すべてに魅了されているとあっという間の2時間半の公演が終わってしまいました。世界で最も成功したミュージカルと言われているだけあり、ミュージカル好きもそうでなかった者も充実した時間となったようです。



生徒会情報

中学 中学生徒会活動の報告

年度の半ばを過ぎましたが、中学生徒会も一生懸命活動に励んでいます。

今年度の中学生徒総会で出された議案について、まず教室の机の横についているフックがとれてしまった机が多いということで、生徒会予算で購入して、生徒会役員の生徒達が自ら机につけるということに決定しました。また、運動会の応援合戦で、太鼓を使いたいという意見が出て、これも体育科の先生方と協議をした結果認められて、太鼓を活用した活発な応援合戦が行われました。12月11日には中学合唱祭があり、ここでも合唱祭実行委員会と生徒会が協力して、素晴らしい合唱祭になることを期待しています。

この後、2月には生徒会選挙があり、新生徒会が決まります。今の2年生、1年生には積極的に参加して、よりよい学校づくりに努めて欲しいと思っています。

教科情報

数学科 SSH校としての取り組み

数学科ではSSHの再指定を受けて、幾つかの新しい取り組みが始まっています。その1つが数学オリンピック等のコンテストへの参加支援です。

今年度は数学オリンピックの応募者数がジュニアオリンピックを含めて30名近くになりました。学校では卒業生によるオリンピック対策講座や、過去問を利用した本校教員による勉強会を実施しています。また、金沢大主催の日本数学A-lympiadにも多くの生徒が参加しました。今後も学校外に目を向け、積極的にチャレンジして欲しいと思います。

ところで本校では、数学の内容をテーマに課題活動をしている生徒が一定数います。秋には他校の生徒と合同で研究活動を行う宿泊行事「MATHキャンプ」などにも参加し、充実した時間をすごしています。問題演習で力をつけるのも良いですが、自分達で決めたテーマに向きあって、じっくり数学をする面白さを感じてみませんか？

高校 高校生徒会活動の報告

4月5日は、新入生歓迎会・予算折衝・生徒総会と、息つく暇もないくらい慌ただしく駆け抜けましたが、その後は比較的落ち着いて活動できたと思います。生徒総会で可決された議題について学校に要望書を提出し、その結果、陸上部とサッカー部の間で、ボールが転がってきて危ないことがある、という件について、間にしきりを設けることが決定されました。この決定に至るまでに、陰で生徒会役員が聞き込みや調査をしたりしてきました。生徒の意見全てに答えることはなかなか難しいですが、少しずつ要望に応えられるよう活動しておりますので、応援していただければと思います。

これと並行して、今年度の芝柏の記録集『柏樹』の発行に向けて、役員一同活動しております。これが終わると来年度への引き継ぎをするのみです。

現生徒会メンバーの皆さん、あと少しです、最後まで頑張りましょう！



委員会情報

福祉委員会 高校福祉委員会の活動

高校福祉委員会は、夏休みに柏市の「530(ゴミゼロ)の会」というボランティア団体と一緒に、柏の葉キャンパス駅付近のゴミ拾いに行ってきました。暑い中でしたが、歩道沿いのゴミを拾いながら歩き、リサイクルプラザでリサイクルごみがどのように処理されるのかを見学しました。きれいに見える街も意外とゴミが落ちているのがわかり、改めて環境問題について考える一日となりました。

また、増穂祭期間中に生徒会と合同で北海道地震の義援金の募金活動を行いました。多くの方のご協力のおかげで、10万円を超える義援金が集まりました。年末には赤い羽根募金も行いますので、引き続きご協力お願いします。



文化講演会

文化講演会を終えて

11月17日、文化講演会を開催しました。講師は心療内科医・産業医の他、ジャズ歌手の経歴もお持ちの海原純子先生。テーマは「ポジティブに生きる」。

講演は、ストレスとは？という話から始まり、ストレスをため込まないこと、一日をリセットする大切さや具体的にリラックスする呼吸法など、その日からすぐに試せる心の処方箋を数多くいただきました。開催後のアンケートでも、明日からすぐに試します、来年も来たいといった意見を多く頂き、参加者にとっても有益な会になったのでは？とホっとしています。

開催にあたり、多くのご協力を頂きました皆様へ心より感謝申し上げます。



P T A 情報

活動報告

今年も余すところ幾日ばかりになりました。日頃よりP T A活動にご理解・ご協力頂き誠にありがとうございます。今回は9月22日(土)・23日(日)に開催されました増穂祭におけるP T A活動について報告させていただきます。

【バザー部門(加藤部門長)】

今回、増穂祭に初参加しました。当然何一つ分からず不安いっぱいでした。驚くことにそんな私が部門長の大役を拝命してしまいました。唯一救いは頼もしい5名の幹部の方々の存在と大村先生をはじめ、幹事61名、ボランティアで参加して頂いた61名の方々のお力添えのおかげです。大きな混乱もなく大盛況で無事に終えることができました。まさに、「一致団結!」父母の力の凄さとしか言い様がありません。P T Aバザーは増穂祭2日目10時から2時間と限られた時間のみの販売でしたが、来場者数(購買者)340名、売上げは約39万円でした。また、バザー物品の回収期間が例年と比べても短期間であったにもかかわらず、P T A会員の皆様により、多くの物品を提供して頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

【飲食販売部門(中山部門長)】

9月22日・23日の2日間にわたり、今年も飲食販売部門はホットドッグ・菓子パン・飲料の販売を行いました。調理・販売をするにあたり、衛生面と安全管理に重点をおき、進めました。両日共、販売開始前からたくさんの方が並んでくださり、売れ行きが順調だったため2時間ほどで完売となりました。途中、何人もの生徒さんが労いの言葉をかけてくれて、とても嬉しく思いました。当初、中学一年生の保護者の私達で務まるのか不安でしたが、クラス幹事の方々にご尽力いただいたお陰で、大きなトラブルもなく無事に、そして楽しみながら、増穂祭を為し終えることができました。準備の段階も含め、二日間本当にありがとうございました。

【高3部門(狩野部門長)】

芝柏生保護者として最終学年の増穂祭ということで、今回のイベントは貴重な

思い出にしたいと考えておりました。増穂祭当日は、天候にも恵まれ、私たちのイベントにも多くのお客様にお立ちより頂き、大盛況のまま無事終えることができました。特に、今回実施したくじ引きで、「当たり」「はずれ」が出たときのお客様や従事したスタッフの楽しそうな笑顔は、非常に印象に残り芝柏生保護者として大きな思い出になりました。

先生方やP T Aの皆様方、そして在校生には、ご協力、ご支援をいただき、心より感謝しております。また、今回のイベントの企画運営に携わったクラス幹事の皆さまには、非常にご多忙なか、ご協力を頂きありがとうございます。

【芝柏P Rコーナー部門(大金部門長)】

今年の増穂祭はお天気にも恵まれ、多くの方にご来場いただき、盛況の中無事に終えることができました。例年販売している「どら焼き」を今年度から「校章入りクッキー」に変更販売しました。おかげさまで400セットすべて完売することができました。また、来場して下さった受験生には、芝柏特製の合格定期が好評で「大事にします」という言葉にわが子の数年前を思い出されました。担当して下さった村松先生も大変迅速に対応して下さり感謝の一言しかありません。スタッフの皆様とも前準備からとても良いチームワークを組むことができました。代表という名ばかりの頼りない私を支えてくださり本当にありがとうございました。増穂祭は終わってしまいましたが、この増穂祭で知り合えた皆様とのご縁をこれからも大切にしていきたいと思えます。ご支援ご協力本当にありがとうございました。



【外部団体】

2日目には、今年も市内福祉団体の「朋生園」さんに物品販売で参加頂きました。

【文化委員会】

11月17日に開催される海原純子先生の講演会のアピール及び参加者の募集を行いました。

後援部情報

増穂祭等活動報告

今年も増穂祭で2日間後援部カフェをOPENしました。お天気にも恵まれ、例年にも増して熱のこもった生徒らの企画や出し物に、ご来場されたみなさまも存分に楽しまれたものと思います。

P T A会後援部が変わって初めての増穂祭、いつもどおり大量のお菓子を準備してみなさまをお待ちしておりました。さすがにこれだけお菓子を買えば今年は大丈夫だろうとタカをくくっておりましたが、フタを開けてみれば想定以上のご来店をいただき、結局お菓子や飲み物の買い増しが必要になるという、過去最高の来場者数に恥じない混雑ぶりでした。

後援部カフェとしてみなさまの憩いの場所を提供するという観点からテーブルレイアウトを工夫し、例年よりも席数を増やすなどの取り組みを行いました。我々後援部も生徒らに負けぬよう引き続き努力してまいります。

ご来店の際にご協力いただいたアンケートの集計結果を踏まえ、さらなる支援拡充、満足度向上に取り組んでまいりますので、来年も後援部一同、みなさまのお越しをお待ち申し上げます。

以下に今年度の後援部活動の成果を記します。

【設備充実】

生物実験室間仕切設置、軽音楽部部室エアコン設置、高校校舎廊下側カーテン設置、中学校舎共用部塗装(予定)

【部活支援】

サッカー部レフェリー用ウェア及びボール飛散防止用フェンス、ダンス部応援用ヴィーナスポンポン、ラグビー部ゴールラック等部活支援を複数実施しました。



T o p i c s

中学ソフトテニス部 柏市中学校新人体育大会 第3位

柏市中学校新人体育大会(ソフトテニス女子個人の部)が9/22に開催された。121ペアが参加する中、大滝直香・森杏奈ペアが第3位となり、県大会出場を決めた。県大会では初回戦負けであったが、この経験は次の大会に生かされるはずである。

今後もテニスというスポーツを活用し、様々なことにおいて「工夫・改善できる生徒」を育成していきたい。



弓道部 弓道部 新人戦結果報告

11月4日に開催された地区予選会において、男子団体(徳田、金山、高垣)が4年振りの地区優勝を果たし、個人の部では2年生の徳田潤(2位)、高垣和弘(4位)、1年生の半田洋久(6位)、野崎航平が県大会への進出権を獲得しました。

翌週に行われた県大会では2年生の高垣和弘が個人の部で第6位に輝きました。

現部員は日々の練習への参加率も高く、コーチや先輩からの熱心な指導に応え、真摯な態度で日々の練習に励んでいます。この雰囲気大切に、さらに高い目標を掲げながら謙虚な姿勢で努力を積み重ねていきます。



高校ソフトテニス部 高校ソフトテニス秋新人戦結果

秋の新人戦に向け、10月に初旬に行われた12地区予選において、男子の松本・近藤ペア(2年)が両名とも足をつりながらも奮闘し、準優勝となりました。これは男子の歴史でも約20年ぶりの快挙です。また、女子団体でも予選リーグ1位、決勝リーグでも史上初の2位となり、個人戦でも黒澤・上原(2年)、八木澤・根本(2年)の2ペアが県大会を決めました。

県大会ではシードを取るには至りませんでした。男女とも団体最上位のチームの大將ペアとの戦いに善戦しました。来春は今の2年にとって最後の個人戦となりますので、有終の美を飾れるように指導していきます。



英語部 柏市中学英語発表会に参加して

夏休み終盤の8月23日にアミュゼ柏で平成30年度柏市中学英語発表会が開催されました。この大会は毎年柏市内の中学生1年生から3年生が集まり、英語暗唱の部、自作スピーチの部、帰国子女も参加可能なフリースピーチの部の3部門において日頃の練習の成果を競う大会です。今年度は16校から全110名の生徒が参加しましたが、本校からは2年生2名、1年生2名の計4名の生徒が出場しました。その中で本校2年生の鈴木敦貴くんがスピーチ部門で「Dreams Come True」という題材で堂々3位に入賞しました。鈴木君は昨年度も1年生ながら同じくスピーチ部門にトライしており2年連続での挑戦になります。今年は万全の準備をしてきたので上位入賞は本当に嬉しいことです。同じく参加した後輩にも大きな励みになります。来年はさらに練習を積み重ねて優勝をするような生徒が出てくれることを強く期待します。



バスケットボール部 高校女子バスケットボール部活動報告

高校女子バスケットボール部が頑張っています。先日行われた新人戦地区予選の初戦を快勝しました。8月の市内大会で初戦を突破した勢いそのまま、新人戦での勝利となりました。

また、U16地区育成選手に本校1年生柴山さんと田中さんが選ばれ、今後の活躍が期待されます。

芝柏バス第2章はまだ始まったばかりです。引き続きご支援のほどよろしくお願いたします。



吹奏楽部 中高吹奏楽部活動の報告

7月に行われたコンクールでは高校が「銀河鉄道」を演奏して銀賞を、中学が「紺き空へ碧き海へ」を演奏して銀賞を受賞しました。続く文化祭では「吹奏楽だヨ!全員集合」をテーマに中高合同の「学園天国」等練習の成果を発揮して演奏することができました。また今年度初の試みとして芝浦工業大学附属中高の文化祭に高校生がゲスト出演し、2曲を合奏してきました。10月16日に行われた市内発表会では、中学生が文化祭で演奏した「ブルーバード」と「ローズ」の2曲を演奏しました。11月11日のアンサンブルコンクールでは、中学の部で木管四重奏(サクソフォン)が金賞を受賞、木管四重奏(クラリネット)と金管六重奏は銅賞を受賞、同じく高校の部では木管五重奏が銅賞を受賞しました。

現在は来年4月29日の定期演奏会に向けて準備をしています。

サッカー部

選手権ベスト16

第97回全国高校サッカー選手権大会において、高校サッカー部が創部初の県ベスト16を達成しました。予選を3連勝して迎えた決勝トーナメントでは、格上の東海大浦安高校を相手に逆転勝利し、参加178校の中でベスト16となりました。2年連続での選手権大会決勝トーナメントへの進出を果たし、本年度の新人戦では県ベスト8、そして今回の選手権ベスト16と、スポーツ推薦などが無い中で、安定した好成績を収めています。ひとえに関係各位によるご協力の賜物です。サッカー部は更に高い目標を目指し、今後も練習を続けて参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いたします。



模型サークル

模型サークル活動報告

文化系部活が少ない。活躍の場を求めた生徒らによって数年前、増穂祭での模型展示が始まった。以降、毎年展示会を続け、そしてついに今年、高3生らによって模型サークルが創設された。活動は月1回、各自が家で制作した作品を持ち寄り品評会を開く。夏休み・増穂祭準備期間は校内で模型を製作。そして増穂祭での展示。今年は延べ481名の方にご来場いただき、体験会も盛況に終わった。模型作りに関心を示してくださる方が多いことを改めて実感した。潜在的に興味を持っている生徒も少なくないはずだ。今後も模型作りをモノづくりの原点と位置づけ、活動を展開していきたい。



陸上競技部

高校陸上競技部活動報告

9月に千葉県新人陸上競技大会が行われ、支部大会を勝ち抜いた男子5種目、女子5種目、のべ25名の生徒が参加しました。これは近年では最も多い人数です。結果は2年4組の安下帆風さんが100mで8位、200mで4位入賞を果たしました。また、10月に甲府市で行われた関東大会でも200mに出場し6位入賞を果たしました。安下さんは、今月25日～28日に茨城県で行われる関東選抜合宿にも千葉県代表として参加します。更なる活躍が期待されます。陸上競技は自分の努力が数字となって結果に表れます。まだまだ皆強くなります。来年は今年以上の結果を報告できると楽しみにしています。

演劇部

文化祭・高校演劇部秋季大会

中学生は「森・FOREST」というファンタジーを夏の発表会と文化祭において上演し、中3の大番、福田、白田の3名が優秀演技賞を受賞しました。高校生は「人食い谷で風は吹く」という、奇想天外なストーリーを演じ、秋季地区大会で準優勝となり、高1の中里が演技賞を受賞しました。更に音響効果賞、照明効果賞、舞台美術賞も獲得しました。



水泳部

水球中学女子、全国ベスト8！

【ジュニアオリンピック】

2018年8月22日～26日に大阪で行われた夏季ジュニアオリンピックに中高女子チームが参加しました。中学チームは昨年度優勝校である松任中学校に5-2で快勝するなどし、決勝トーナメントに進出しました。川島歩美さん、小倉風奈さんの得点などで一進一退のゲーム展開でしたが惜しくも敗れ、全国ベスト8となりました。



【柏市中学校新人体育大会】

2018年9月2日に本校プールで行われた柏市中学校新人体育大会に中学1・2年生が参加しました。中2樋口翔哉くん、太田紗栄羅さんなどの活躍で総合優勝することができました。



【全日本ユース水球選手権】

2018年11月3日に秀明大学で行われた全日本ユース水球選手権関東予選に千葉県選抜として、中3日比絵美理さん、糸賀美枝さん、高1阿部紗也香さん、伊藤知春さん、山山寧佳さん、佐藤優美さんの6名が参加しました。危なげなく勝利を重ね、12月24日～27日に岡山で開催される全国大会への出場権を得ることができました。

あとがき

2018年の終わりが近づいている。それはまた”平成”の終わりも近いということだ。しかし私自身一つの時代が終わる実感はあまりない。何十年、何百年先の後世はこの時代をどう評価するのだろうか。そんなことを気にしながらも、ただ今をひたすら生きていこう。